



# リーダーの「嘘も方便」

向を決定したという点では、次の英・米の二例の右に出るものはないのではないかと。

第一は、フランス仲介によるナチス・ドイツとの和平を望む大多数の英国民に対し、徹底抗戦・勝利を訴え、国民の気持ちを变えてナチとの全面対決に導いた有名なチャーチル首相の勇ましい演説である。実際は、イスメイ軍事首席補佐官に「三カ月後もすれば、君もわしも死んでしまっだろう」と話し、悲観的な戦争の見通しを持っていったことである。

そして二番目は、真珠湾攻撃を探知しているながら敢て放置し、奇襲を成功させて孤立主義だった米国に第二次世界大戦参戦への道を開き、卑怯な日本人というイメージを国民に植え付け、戦意の高揚を図ることに大成功したルーズベルト大統領の例である。

どちらの例も、歴史的なターニング・ポイントで、嫌がる国民を多大な犠牲を強いる全体主義との戦争に導き、現代の国際秩序を築いた偉業であるといえる。

ところで、この両者に負けたヒトラーも、『わが戦闘』の中で、「大衆は、小さな嘘よりも、大ぼらに騙される」と言っている。[The

偉大な指導者達は、大きな嘘をつく。大衆に夢と希望を与え、大衆を動かすためには、嘘もやむを得ないのだろう。

「嘘も方便」だという。法華経「譬喩品」にある「三車火宅」の喩えが由来だそう。ある日、長者の家が火に包まれた。中では、恐ろしい火事であることも分からず、子供達が夢中で遊んでいて、「逃げる」という声には耳を貸さずともしない。そこで長者は「門の外に、お前達が欲しがっていた羊の車と鹿の車と牛の車があるから出ておいで」と言っ子供たちを外へ出させたという。もちろん長者とは釈迦のことであり、嘘も衆生の救済のための方便だという教えである。

## 世界の方向を決定した嘘

歴史上、リーダーの嘘がその後の世界の方

great masses of people will more easily fall victims to a big lie than a small one. Adolf Hitler」。まさに「この言葉通り大ボラを吹いて世界中を戦争の犠牲にさせた。やはり何のために嘘をつくの、その目的が問題なのだ。

目を現代に転ずれば、普通の政治家や役人が、ごく普通の時に嘘をつく。世の中、嘘八百、昔の倫理観から見れば世も末である。西の横綱は、何と言ってもトランプ大統領だ。トランプ氏のウソ発言を毎日チェックしている (Fact Checker) ワシントン・ポスト紙が、最近、昨年一月の就任から今年四月末にかけて、嘘や人を誤らせる主張を三千一回繰り返し、それは一日平均六・五回に当たると集計結果を発表した。

さて、東の横綱は？ とはいきや、突然、天才的な人物が出現した。北朝鮮の金正恩委員長である。板門店での南北首脳会談で見せた礼儀正しくユーモアのある立ち振る舞いに、世界中が南北融和や核の廃絶に期待を抱いた。特に日本のメディアは、側近や部下を何百人も粛清、実兄さえをも暗殺し、国民を飢えに苦しめた人物であることを、一瞬で忘れて去っているような報道ぶりだった。

## 性善説の日本人

元来、日本人は嘘をつけない国民だと思っ  
そして嘘をつかれると容易に騙される。子供  
の時から、「嘘をつく」と閻魔様に舌を抜かれ  
る」「嘘つきは泥棒の始まり」と教えられ、  
正直者は得をする」「花咲爺さん」を聞いて  
育つ。皆が正直者だから、人を疑うことを知  
らない。普通の日本人は、生まれつきか、そ  
れとも教育による結果なのか、とにかく性善  
説の世界に住む。従って、嘘をつかれたこと  
がわかると軽薄な嘘にも神経質に怒りを覚え  
る。モリカケ問題や、防衛省や財務省などの  
不祥事に関して一年以上も国を挙げての最大  
問題となり、国会が空転するのもこのあたり  
の国民性に反する政治家や役人が出現したか  
らだと思っ。



嘘つきレベルも「天才的」な金正恩委員長

一方、西洋では、オオカミに騙される「赤  
ずきんちゃん」や「カラスとキツネ」のよう  
な騙し合いの童話を聞かされ、小さい時から  
人を疑い、騙されないように育てられる。彼  
らは、民族の攻防・闘争の中の性悪説の世界  
に住んでいるのである。そのため嘘について  
も、つかれても、日常茶飯事で抵抗力があり  
案外平気であるものなのだ。

面白いことに、二十年近く前だがCNNで、  
「子供の集団を調査したら、嘘をつける能力  
を持っている者がリーダーであった」という  
調査結果をレポートしていた。もし日本で同  
じような調査をしたらどうなるだろうか？

## わが国を動かす嘘

ところが、普段は嘘をつくのが下手な日本  
人も、大義のためには大きな嘘をつくことが  
できる。「嘘も方便」を教えられているから  
だろうか。

明治維新は偽の「錦の御旗」で始まり、戦  
前は、まじめに考えればあり得ない日本神国  
論や大言壮語のたぐいである八紘一宇の  
思想に駆られた。結果としては太平洋戦  
争や敗戦という誤った方向に進んだが、  
一億の民が大いに奮起して動いたのであ  
る。

戦後でいえば、「自衛隊は合憲」ではな  
いだろうか。自衛隊は、普通、素直に見  
れば戦力となり、憲法九条第二項（陸海

空軍その他の戦力は、これを保持しない）に  
反するように見える。しかし、「憲法は自衛の  
ための自衛力を禁止しているわけではない」  
という政府の憲法解釈により、合憲とされて  
いる。

韓国の独島義勇守備隊が竹島を不法占拠し  
た一九五二年四月二十日には、自衛隊の前身  
の警察予備隊しかなかった日本はなす術もな  
かったことを思い起こせば、状況の変化に対  
応した柔軟な憲法解釈は、まことに見上げた  
ものである。これこそ、釈迦が説く「嘘も方  
便」ではないだろうか。我が国が諸外国の信  
頼を得るための基本にしている憲法九条を、  
いまさらいじる必要性は全くないと思っ。

八方塞がりとなって国全体が沈没しそうな  
日本において、国民の関心が個人的な短期の  
利益追求や保身のみになり、改革を厭う現状  
は、まさに「三軍火宅」の譬え通りの状況で  
ある。遊びに夢中の日本人を救えるのは、い  
くら「火事だ」と叫んでも駄目、お釈迦様  
の嘘以外にはないのかもしれない。



内海善雄(うつみ よしお)

1942年香川県高松市生まれ。東大（現  
法学部）卒業。東芝を経て66年郵政省の自由化など、  
総務省）入省。電気通信の担当。98年事務総長  
など、通信放送政策を長く担当。98年事務総長  
国際電気通信連合（ITU）事務総長  
局長就任。通信・電力・自動車関係な  
企業や各種団体の役員、大学教授な  
などを歴任。IEEE名誉会員。